

IV. 特別入試

○ 推薦入試

高等学校、中等教育学校、高等部を置く特別支援学校、文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設（以下、「高等学校等」という。）を平成31年3月に卒業見込みの者及び平成30年度中に高等学校等を卒業又は卒業見込みの者で、特に本学への入学を希望し、学業成績、人物が共に優れ、出身学校長が責任をもって推薦できる者を対象として、入学定員の一部について、次のとおり大学入試センター試験及び個別学力検査を免除して推薦入試を実施する。

1. 出願資格及び要件

- ①高等学校等を平成31年3月に卒業見込みの者及び平成30年度中に高等学校等を卒業又は卒業見込みの者
- ②出身学校長が責任をもって推薦できる者
- ③合格した場合、入学することを確約できる者

上記の出願資格及び要件を全て満たし、かつ募集区分毎の出願資格及び要件を全て満たしている者。

募集区分	募集人員	出願資格及び要件
教育学専攻	6	1. 教育学及び心理学に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 小学校教員 になろうとする者 2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が 4.0 以上の者 *各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。
幼児教育専攻	4	1. 幼児教育に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 幼稚園教員 になろうとする者 2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が 4.0 以上の者 *各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。
発達障害教育専攻	4	1. 障害児教育に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 特別支援学校教員 もしくは 小学校教員 になろうとする者 2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が 4.0 以上の者 *各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。
国語領域専攻	4	1. 国語に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 小学校教員 になろうとする者 2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が 4.2 以上の者 *各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。
社会領域専攻	12	1. 社会科に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 小学校教員 になろうとする者 2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が 4.0 以上の者 *各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。

募集区分	募集人員	出願資格及び要件
英語領域専攻	5	<p>1. 英語に強い関心を持ち、将来、小学校教員もしくは中学校教員になろうとする者</p> <p>2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が4.2以上の者</p> <p>*各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。</p>
数学領域専攻	7	<p>1. 数学（算数）に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、小学校教員になろうとする者</p> <p>2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が4.0以上の者</p> <p>*各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。</p>
理科領域専攻	13	<p>1. 理科に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、小学校教員になろうとする者</p> <p>2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が4.0以上の者</p> <p>*各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。</p>
技術領域専攻	A入試 3 B入試 2	<p>1. 次のいずれかに該当する者</p> <p>A入試：工業・農業などの産業分野の教育及び研究に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、中学校教員等になろうとする者</p> <p>B入試：もの作りや情報の活用などに強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、小学校教員になろうとする者</p> <p>2. 出願できる高等学校等</p> <p>A入試 対象となるのは以下に該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業高等学校に在籍する者 ・農業高等学校に在籍する者 ・高等学校において、専門教育に関する教科「工業」及び「農業」に含まれる科目の単位を25単位以上履修した者 <p>B入試 対象となるのは上記A入試の対象外の高等学校等（普通科を含む。）に在籍する者</p> <p>3. 調査書の学業成績の全体の評定平均値がA入試は4.2以上、B入試は4.0以上の者</p> <p>*各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。</p>
家庭領域専攻	5	<p>1. 家庭科に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、小学校教員になろうとする者</p> <p>2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が4.0以上の者</p> <p>*各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。</p>

募集区分	募集人員	出願資格及び要件
美術領域専攻	4	1. 造形教育ならびに美術・工芸に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 小学校教員 になろうとする者 2. 芸術的表現に関して、個人やクラブ活動などで意欲的な活動が認められる者 3. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が 3.8 以上の者 *各高等学校等からの推薦人数は、1校につき2名以内とする。
音楽領域専攻	5	1. 音楽に強い関心を持ち、同分野の専門的知識を活かして、将来、 小学校教員 になろうとする者 2. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が 4.0 以上の者 *各高等学校等からの推薦人数は、1校につき1名とする。
体育領域専攻	10	1. 体育・スポーツ分野(保健を含む。)に強い関心を持ち、将来、学校教員になろうとする者 2. 学校体育で取り扱われている内容、及び本学の教育課程に対応する以下の運動種目において、優れた運動能力を有する者(全国規模の大会 ^(注1) への出場経験を有する者、又はブロック大会 ^(注2) にて、ベスト8、もしくは8位以上の競技成績を有する者) 出願可能運動種目： 器械体操、陸上競技、競泳、球技【ゴール型(バスケットボール、ハンドボール、サッカー)：ネット型(バレーボール、テニス[ソフトテニスを含む。])：ベースボール型(ソフトボール、野球)】、 武道(柔道、剣道)、野外活動(スキー) 3. 調査書の学業成績の全体の評定平均値が 3.8 以上の者 (注1) 全国規模の大会とは、インターハイ、国体及びそれらと同等以上の大会をいう。 (注2) ブロック大会とは、都道府県大会の上位チームもしくは上位の成績を得た個人が、近畿大会など、複数の都道府県からの代表チーム又は個人として競う大会をいう。 *各高等学校等からの推薦人数は、1校につき2名以内とする。

2. 選抜方法等

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、以下の方法により選抜を行う。

〔教育学専攻、幼児教育専攻、発達障害教育専攻、国語領域専攻、社会領域専攻、英語領域専攻、数学領域専攻、理科領域専攻、技術領域専攻(A入試、B入試)、家庭領域専攻〕
 推薦書、調査書、志望動機書を参考資料として、小論文及び面接による選抜を行う。

〔美術領域専攻〕

推薦書、調査書、志望動機書を参考資料として、小論文、面接及び美術・工芸作品による選抜を行う。

当日は、作品持参(2点以内)を原則とする。

〔音楽領域専攻〕

推薦書、調査書、志望動機書を参考資料として、実技検査等及び面接による選抜を行う。

〔体育領域専攻〕

推薦書、調査書、志望動機書を参考資料として、体育・スポーツ業績調書、小論文、面接による選抜を行う。

第1次試験：体育・スポーツ業績調書による選抜を行う。

第1次試験の選抜結果は、11月22日付けの文書をもって通知する。

第2次試験：第1次試験の合格者に対し小論文及び面接を課し、第1次試験の成績と総合して選抜を行う。

3. 障がい等のある入学志願者の事前相談について

障がい等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、平成30年9月28日（金）までに、本学教務・入試課入試グループへ申し出ること。

なお、9月29日以降であっても、その状況によっては考慮できる場合があるので、申し出ること。

4. 出願期間

平成30年11月1日（木）から11月5日（月）まで

5. 出願について

- (1) 国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）へ出願できるのは、1つの大学・学部なので注意すること。
- (2) 出身学校長から推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）に推薦された志願者で、一般入試の受験を希望する者は、前期から1つ後期から1つの合計2つまでの大学・学部を選んで出願することができる。

6. 選抜期日

平成30年12月8日（土）

（体育領域専攻の第2次試験も、同日に実施する。）

7. 合格発表日

平成30年12月20日（木）（予定）

○ 地域指定推薦入試

京都府内の高等学校又は高等部を置く特別支援学校（以下、「高等学校等」という。）を平成31年3月に卒業見込みの者及び平成30年度中に卒業又は卒業見込みの者で、将来京都府内の小学校教員として地域に貢献しようとする強い意欲があり、出身学校長が責任をもって推薦できる者を対象として、入学定員の一部について、次のとおり大学入試センター試験及び個別学力検査を免除して地域指定推薦入試を実施する。

募集人員は、全専攻（教育学専攻、幼児教育専攻、発達障害教育専攻、国語領域専攻、社会領域専攻、英語領域専攻、数学領域専攻、理科領域専攻、技術領域専攻、家庭領域専攻、美術領域専攻（美術分野、書道分野）、音楽領域専攻、体育領域専攻）から20名（出願要件A：10名程度 出願要件B：10名程度）である。

1. 出願資格及び要件

(1) 出願要件A（京都府北部地域）

次の①～⑤の全てに該当し、学校長が責任をもって推薦できる者。

なお、各高等学校等の推薦人数は、1校につき3名以内とする。ただし、各校が推薦できるのは1専攻につき1名とする。

- ①京都府北部地域（福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、伊根町、与謝野町内）の高等学校等を平成31年3月に卒業見込みの者及び平成30年度中に卒業又は卒業見込みの者
- ②小学校教員を強く志望し、その適性を持つと学校長が判断する者
- ③将来、京都府北部の学校教員として地域に貢献しようとする意欲を有する者
- ④調査書の学業成績の全体の評定平均値が4.0以上の者
- ⑤合格した場合、志願書に記載の専攻に入学することを確約できる者

(2) 出願要件B（京都府内〔出願要件Aの京都府北部地域を除く〕）

次の①～⑤の全て、又は①～⑥の全てに該当し、学校長が責任をもって推薦できる者。

なお、各高等学校等からの推薦人数は、①～⑤の全てを満たす場合は、1校につき1名とし、①～⑥の全てを満たす場合は、更に2名以内の推薦を認める。ただし、各校が推薦できるのは1専攻につき1名とする。

- ①京都府内（出願要件Aの京都府北部地域を除く）の高等学校等を平成31年3月卒業見込みの者及び平成30年度中に卒業又は卒業見込みの者
- ②小学校教員を強く志望し、その適性を持つと学校長が判断する者
- ③将来、京都府内の学校教員として地域に貢献しようとする意欲を有する者
- ④調査書の学業成績の全体の評定平均値が4.0以上の者
- ⑤合格した場合、志願書に記載の専攻に入学することを確約できる者
- ⑥教育に関する専門学科に在籍する者

2. 選抜方法等

大学入試センター試験及び個別学力検査を免除し、推薦書、調査書、志望動機書を参考資料として、小論文及び面接による選抜を行う。

3. 障がい等のある入学志願者の事前相談について

障がい等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、平成30年9月28日（金）までに、本学教務・入試課入試グループへ申し出ること。

なお、9月29日以降であっても、その状況によっては考慮できる場合があるので、申し出ること。

4. 出願期間

平成30年11月1日（木）から11月5日（月）まで

5. 出願について

- (1) 国公立大学の推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）へ出願できるのは、1つの大学・学部なので注意すること。
- (2) 本学推薦入試との併願は可能であるが、出願書類及び検定料等は、別に提出すること。
- (3) 地域指定推薦入試に合格した者は、推薦入試の合格者とはならない。
- (4) 出身学校長から推薦入試（大学入試センター試験を課す場合、課さない場合を含めて）に推薦された志願者で、一般入試の受験を希望する者は、前期から1つ後期から1つの合計2つまでの大学・学部を選んで出願することができる。
- (5) 出願要件A、Bとも、各高等学校等からの地域指定推薦入試への推薦人数は、教育学部推薦入試の各専攻ごとの推薦人数には含まれない。

6. 選抜期日

平成30年12月1日（土）

7. 合格発表日

平成30年12月6日（木）（予定）